

エリコのザアカイ

ルカ 19 : 1 - 10



司祭 ヨハネ 井田 泉

2022年10月30日
聖霊降臨後第21主日

京都聖三一教会にて

エリコという町にザアカイという人がいました。徴税人の頭かしらです。

徴税人というのは、ローマ帝国の権威のもと、人々から税金を取り立てる人です。「**金持ちであった**」(ルカ 19:2)と記されています。おそらく彼は自分の立場を利用して、決まり以上に税金を取り立てて自分のふところを肥やしていたのでしょう。エリコは大きな町であり、その「**徴税人の頭**」ですから、おそらくは十数人あるいは数十人の配下を持ち、権勢を誇っていたのではないのでしょうか。

ザアカイにはローマ帝国を後ろ盾とした権威と権力があり、蓄えてきた財産があります。しかしそれで幸せだったかというところ、おそらくそうではありません。彼には信望ない。心を許せる友人や仲間がいません。人は彼を恐れ、嫌悪して避けていく。守銭奴と陰口を言われ、同胞から金を巻き上げてローマに貢ぐ売国奴ともささやかれている。孤独です。ずっと長くそうでした。

ある日、イエスという人がエリコの町に来るという話を聞きました。イエスのうわさをザアカイも聞いていました。何でもたくさんの弟子を連れてあちこちを放浪しながら「神の国」を説いていると。ほんとかどうか知りませんが、何人もの病人を癒やしたともいいます。でもそのくらいであればザアカイは気

にも留めません。しかしザアカイが気になるうわさがありました。それはイエスが「**徴税人や罪人の仲間だ**」(ルカ 7:34)と
言われているということです。

「フン、仲間なんかなくて結構。わたしには何十人も配下がい
て、いつでも動かすことができるのだからな」

そうつぶやいてみるのですが、心には冷たい風が吹き抜ける
ようです。彼は心の奥では何かを、誰かを求めているのです。
イエスがどんな人か見てみたい。

外が騒がしくなってきました。ザアカイは気になって表に出
て見ました。たくさんの人が同じ方向に流れていきます。イエ
スを見に行く人たちです。ザアカイもその中にまじって急ぎま
した。やがて人だかりがひどくなって、前に出ようにも身動き
さえむつかしくなりました。この時ほどザアカイは自分の背が
低いことを悔しく思^{くや}ったことはありません。見えるのは人の背
中ばかりです。

そうだ！　こうしよう！　ザアカイは何とか人ごみから出る
と、町はずれまで走って先回りをしました。しかしそこで待ち
構えるだけでは、結局イエスを見ることができなくて終わって
しまいそうです。とにかくイエスがどんな人が見たいのです。

ちょうどそこに高さ 10 メートルを超す大きないちじく桑の木
があったので、彼はその木に登りました。これだと確実に見え
ます。まもなく大勢の人の群れが近づいてきました。その真ん

中に、あれがイエスか。その姿が近づいてきて今にも通り過ぎるかと思ったとき、イエスは足を止めて木の上のザアカイを見上げました。イエスの目とザアカイの目が合いました。恥ずかしいと思いましたが、すぐにイエスが彼に呼びかけました。優しい目です。



「ザアカイさん、急いで降りて来なさい。今日はあなたの家に泊まることになっている。」

ザアカイは急いで木から降りて来て、喜んでイエスを自分の家に迎えました。

これを見た人たちは皆、ぶつぶつと文句を言いました。

「イエスは罪深い男のところに行って泊まるんだと」

「あの強欲なザアカイなど、叱りつけてくれればいいのに」

ザアカイを軽蔑する者たちはイエスをも軽蔑しました。

しかしザアカイはイエスを迎え、食事をともにし、語り合い、イエスとともに祈りました。ザアカイはこれまで一度も経験したことのない愛を、イエスから受けたのです。

その夜、ザアカイはどんな気持ちで過ごしたのでしょうか。うれしい。イエスと出会ったことはこの上ない喜びです。けれど

も同時に、これまでの自分のあり方がいかに間違っていたかを
思うと、心が痛みました。

一夜明けて、新しい日が始まる時、ザアカイの中に新しい
人が生まれていました。彼はこう言いました。

「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、
だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返し
ます。」 19:8

彼は、自分の権勢と富を増やすために生きることをやめて、
持っているものを貧しい人と分かち合う生き方に変えられまし
た。また自分のこれまでのあり方を反省し、不当な取り立てを
していたら4倍にして返すと決意し、それを言い表しました。イ
エスとの出会いが彼を変えたのです。

イエスはザアカイに言われました。

「今日、救い^{きょう}がこの家に来た。」 19:9

ザアカイがよかったのは、イエスを求めたことです。まっす
ぐな求め方ではなかったけれども、ザアカイはイエスを見たか
った。見るために頭を働かせて行動した。木に登ってイエスを見
た。そしてイエスを迎えた。家に迎えただけでなく、自分
の心にイエスを迎えたのです。それによってイエスとの深い出
会いが起こりました。

イエスのほうは彼に何をされたのでしょうか。木の上のザアカイに目をとめて声をかけられた。ザアカイの家に行き、彼と寝食を共にされた。彼に愛を注がれた。そしてイエスは、ザアカイの回心と新しい出発を喜ばれました。

このザアカイの話から、わたしたちも願いを持ちたいと思います。

第1に、わたしたちもイエスを見たい、イエスの声と言葉を聞きたい。まだイエスのことをよく知らなくても、あるいは反対にもう長年イエスとのつながりと交わりを持ってきたとしても、もっとはっきりイエスを見たい、知りたいのです。

第2に、わたしたちもイエスを迎えたい。自分の家に、自分の部屋に、自分の心にイエスを迎えたい。イエスを自分の心の部屋に迎えるなら、イエスの愛とまごころがわたしたちを癒やしてくださるでしょう。

第3に、わたしたちもイエスとの出会いから新しく出発したい。貧しく弱くされた人々のことを心に大切に思い、神と人を愛する者になりたい。

そのような願いを抱くわたしたちを、イエスは喜び、励ましてくださいます。

祈ります。

主イエスさま、あなたの愛のまなざしをもってわたしたちを
ご覧ください。わたしたちのところにおいでなって、愛と憐れ
みを注いでください。そしてわたしたちを、あなたと人を愛す
者として新しく歩み出させてください。アーメン